

書きぞめ大会に便利な電車

行先	種別	大阪阿部野橋	河内松原	藤井寺	土師ノ里	道明寺	古市	橿原神宮前着
【午前の部】								
河内長野	準急	8:14	8:23	8:28	8:30	8:32	8:34 着(のりかえ)	
吉野	急行	8:20	—————				8:38 ↓	8:57
橿原神宮前	準急	8:24	8:33	8:38	8:40	8:42	8:48 →	9:22
吉野	特急	8:40	—————					9:15
河内長野	準急	8:44	8:53	8:58	9:00	9:02	9:04 着(のりかえ)	
吉野	急行	8:50	—————				9:09 ↓	9:29
橿原神宮前	準急	8:54	9:03	9:08	9:10	9:12	9:18 →	9:54
吉野	特急	9:10	—————					9:45
河内長野	準急	9:14	9:23	9:28	9:30	9:32	9:34 着(のりかえ)	
吉野	急行	9:20	—————				9:38 ↓	9:58
吉野	特急	9:40	—————					10:15
【午後の部】								
河内長野	準急	11:14	11:23	11:27	11:30	11:32	11:34 着(のりかえ)	
吉野	急行	11:20	—————				11:38 ↓	11:58
橿原神宮前	準急	11:24	11:33	11:37	11:40	11:42	11:48 →	12:21
吉野	特急	11:40	—————					12:15
河内長野	準急	11:44	11:53	11:57	12:00	12:02	12:04 着(のりかえ)	
吉野	急行	11:50	—————				12:08 ↓	12:29

※ 特急券は1ヵ月前から発売しています。(大阪阿部野橋から大人 510円、小児 260円)
 ※ お得なきっぷ(おとなのみ)
 橿原神宮初詣 割引きっぷ(大阪難波・大阪阿部野橋から往復900円)

平成三十一年一月六日(日)

第六十回記念 大阪地区

橿原神宮書きぞめ大会



私たちは「日本の書道文化」の
ユネスコ無形文化遺産登録を
応援しています。

書きぞめはわが国古来からの美しいならわしであります。

新しい年のはじめにあたり、すがすがしさのひとしお深い神域に清新
の気をこめて水くきのあとうるわしく書きぞめをすることは、さらに意
義深いことと思います。

つきましては要項により橿原神宮書きぞめ大会を開催いたしますので、
多数ご参加くださるようお願い申し上げます。

主催 橿原神宮
 共催 大阪書写書道教育研究会
 後援 毎日小学生新聞
 (財)日本書写技能検定協会

第六十回記念 大阪地区檀原神宮書きぞめ大会要項

- 一、期 日 平成三十一年一月六日(日)
- 一、受 付 檀原神宮南北神門内 外拝殿前(ここで作品整理票を受取り必要事項を記入してください)
午前の部参加者受付 十時から十時三十分まで 揮毫終了 十二時
午後の部参加者受付 十二時三十分から十三時まで 揮毫終了 十四時三十分
- 一、会 場 奈良県立檀原体育館(会場へは受付後案内します)
- 一、参加資格 幼児、小学校児童、中学校生徒、高等学校生徒、大学生および一般
- 一、参加費 幼・小・中学 四〇〇円 高校・大学・一般 六〇〇円(用紙代を含む) 当日受付で納入してください
- 一、課 題 幼 児 ・ 小 学 校 幼児、た こ 小一、こ ま 小二、うねび 小三、いの年
中 学 校 中一、白銀の山(楷書)
中二・中三、希望の春(行書)
※作品には必ず学年・氏名を記入してください。(但し、幼児は、名前だけでもよい)
高 校 ・ 大 学 ・ 一 般 漢 字 の 部 (書体は自由とする)
漢 字 一、山峰染月寒
〔山峰月を染めて寒し〕
漢 字 二、梅花舒兩歲之裝 柏葉汎三光之酒
〔梅花は兩歳の装いを舒ばし、柏葉は三光の酒を汎かぶ〕
※漢字一、二の何れかを選んで書くこと。
高 校 ・ 大 学 ・ 一 般 かなの部(表現は自由とする)
かな一、山里や雪積む下の水の音(正岡子規)
かな二、新しき年の始の初春の今日ふる雪のいや重け吉事(万葉集 大伴家持)
※かな一、二の何れかを選んで書くこと。(かな作品は、漢字をかなで表現してもよろしい。)

一、書きぞめの方法

- 1、揮毫時間は、三十分以内とします。
- 2、幼児・小学校、中学校の部は規定用紙を使用します。(縦七十センチ・横十七センチ)
高校・大学・一般の漢字一、二、かな一、二の課題は画仙紙半切に揮毫します。
ただし、漢字一、かな一の課題は規定用紙で揮毫してもかまいません。
当日使用する用紙は、会場でしるしの入った用紙を一名につき二枚渡します。(この用紙以外の紙を使用した場合は無効となります。)
- 3、参加者は毛筆書写用具をご持参ください。ただし硯・墨・紙は会場で使用しますので必要ありません。
- 4、会場では手本を使用してはいけません。また、練習はできません。
- 5、作品には必ず作品整理票をつけて提出してください。(作品整理票は作品の下部中央にはります。一番下の引換票だけ切り離しお持ち帰りください。)
- 6、作品は檀原神宮に奉納するのでお返ししません。

一、表 彰

- 1、参加者全員に檀原神宮から参加記念品を贈ります。
- 2、賞状ならびに賞品

(1) 個人 の 部

- a、特 別 賞
ア、檀原神宮宮司賞 賞状、賞品
イ、第六十回記念檀原神宮賞 賞状、賞品
ウ、毎日小学生新聞賞 賞状、賞品
エ、檀原神宮書きぞめ大会会長賞 賞状、賞品
オ、大阪書写書道教育研究会賞 賞状、賞品
カ、近畿日本鉄道賞 賞状、賞品
キ、一般財団法人日本書写技能検定協会理事長賞 賞状、賞品
ク、大阪畝傍会賞 賞状、賞品
b、特 選
c、優 秀、優 良 賞状、賞品

(2) 団 体 の 部

- 成績優秀と認めた団体には大阪書写書道教育研究会ならびに近畿日本鉄道(株)より団体優秀賞を贈ります。
- 3、賞状ならびに賞品は三月第一月曜日から着払いにて送付いたします。
但し事務整理の都合上三月第三金曜日を以って一切の事務を打切ります。

一、展 覧 (特別賞および特選・優秀作品)

- 1、期 間 平成三十一年二月一日(金)～二月七日(木) (七日間)
- 2、場 所 檀原神宮外拝殿内回廊(九時から十六時まで)

一、審 査 員 大阪書写書道教育研究会の先生方

注 意 事 項

- 1、付添いの保護者は観覧席へは入場できませんが、揮毫している児童、生徒のそばへは入れません。
- 2、参加者は靴のままでは会場に入れません。スリッパおよび靴の入れものは各自でご用意ください。
- 3、よごれた手で柱や壁にさわったり、きめられた場所以外に立入らないでください。
- 4、会場内では大きな声を出したり、走ったりしないでください。
- 5、会場内では携帯電話およびスマートフォンの使用も禁止します。
- 6、筆は会場内では洗えません。
- 7、奈良大会の出品票での参加は出来ません。

※大阪府下以外の地区の方も参加できますが奈良県のかたは原則として一月五日(土)の奈良地区大会に参加してください。

お問い合わせ 大阪市天王寺区上本町六丁目一番五五号

近畿日本鉄道株式会社

鉄道本部企画統括部 観光・宣伝部(大阪事業)

檀原神宮書きぞめ大会係(電話06六七七五―三五六六)